

日本カウンセリング学会「認定カウンセラー養成カリキュラム」による

第124回 日本カウンセリング学会 松本研修会

日本カウンセリング学会「認定カウンセラー養成カリキュラム」による研修会を、信州松本の地で開催いたします。松本での開催は12回目となります。今回も著名な講師の先生方をお迎えすることができました。さらに、認定カウンセラーなどの資格をお持ちの方にも参加いただける内容を盛り込み、実践に役立つ研修会となるよう企画いたしました。同じ会場で開催します懇親会にもぜひ参加して充実した時間を過ごしましょう。

会員をはじめカウンセリングに興味のある方のご参加を心よりお待ちしております。

第124回 日本カウンセリング学会 松本研修会 実行委員長 飯田俊穂
事務局長 片岡義子

1. 主催 日本カウンセリング学会
2. 協力 日本カウンセリング学会長野県支部
3. 期日 2016年11月5日(土)～11月6日(日)
4. 会場：長野県松本勤労者福祉センター
〒390-0811 長野県松本市中央4-7-26 TEL 0263-35-6286
5. アクセス JR松本駅より徒歩約20～25分 車7～10分

6. 研修講座

No.	講座名	時間	定員	講師
-----	-----	----	----	----

A. カウンセリング心理学

I	実践に活かす『アート・アプローチ』	15	30	東京福祉大学教授 ※鈴木康明
II	実践に活かす 『認知・行動カウンセリング』	15	30	東京福祉大学教授 ※田上不二夫

B. カウンセリング・アセスメント

III	実践に活かす『心理アセスメント』 ～見立てのコツを事例で学ぶ～	15	30	昭和大学(医学部) 兼任講師 ※飯田俊穂
-----	------------------------------------	----	----	-------------------------

C. カウンセリング演習

IV	実践に活かす『ナラティブアプローチ』 と『家族システム療法』	15	30	山梨大学教授 藤田博康 統合的心理療法研究所 ※平木典子
V	実践に活かす 『援助技術～中級から上級～』	15	20	立正大学教授 ※水野修次郎

D. カウンセリング実習

VI	実践に活かす 『グループスーパービジョン』	15	15	目白大学名誉教授 ※福島脩美 立正大学カウンセラー ※住沢佳子
----	--------------------------	----	----	------------------------------------

E. カウンセリング諸領域

VII	学校カウンセリング 実践に活かす 『発達障害の理解と支援(実践編)』	15	30	関東学院大学教授 ※青戸泰子
-----	--	----	----	----------------

※学会認定カウンセラー

7. 日程(全 15時間)

9:00	9:15	12:15	13:00	16:00	18:30	18:40	21:00
1日目 11/5(土)	受付	研修1 (3時間)	昼食	研修2 (3時間)	研修3 (2時間30分)	休憩	懇親会 同会場

9:00	9:15	12:15	13:00	16:30
2日目 11/6(日)	受付	研修4 (3時間)	昼食	研修5 (3時間30分)

<各 講 座 概 要>

I 実践に活かす『アート・アプローチ』(15時間) ~描画、コラージュ、身体表現、ドラマから~ **講師 鈴木 康明:東京福祉大学教授**

アート・アプローチは人の「表現」に着目し、それを活性化することにより、二つの事柄の達成を目指します。一つは、クライアントが問題解決力を身につけるだけでなく、自分が本来持っている「力」に気がつき、それをさらに高めていくというものです。そして、カウンセラーなどがクライアントを理解するためのアセスメント的な働きが二つ目です。楽しく取り組める方法ですので、心理だけでなく、教育や福祉、さらには医療などの領域で展開できます。また対象も子どもから高齢者まで、個人も集団も可能という幅広さを持ちます。今回は、美術や身体表現を中心としますが、芸術家の育成ではありませんので、表現の巧拙や、得手不得手を気にせずご参加下さい。楽しい時間を共有しましょう。

※当日は、彩色できるもの適宜、切り取ってよい雑誌・パンフ・チラシなど適宜、はさみ、のりを持参して下さい。

II 実践に活かす『認知・行動カウンセリング』(15時間)

講師 田上 不二夫:東京福祉大学教授

行動療法は病理モデルとして条件づけ理論を長い間継承してきました。しかし、今世紀に入る前に条件づけ理論を拡大して、認知的変容をターゲットとする技法を合わせて活用する認知・行動療法へと発展してきました。とくにマインドフルネスの技法を取り入れたことで適応が広がっています。認知・行動療法によるアセスメントを踏まえながら、人間関係、不登校ならびにうつ病の支援という実践をもとにして、認知・行動カウンセリングの可能性について学ぶ予定です。

III 実践に活かす『心理アセスメント』 ~見立てのコツを事例で学ぶ~ (15時間)

講師 飯田 俊穂:昭和大学(医学部) 兼任講師

心理アセスメントの重要性、クライアントが神経症圏なのか、精神病圏なのか、あるいはその境界水準なのか、また心身症的なのか、正常心理反応圏なのかなど、病態水準の把握は、カウンセラーにとって重要な問題であり、クライアントを守るためにとても大切です。心身医学と精神医学の違い、ストレスとは、情動と自律神経の働き、自律神経のアンバランスなど、その原因、特徴、傾向、症状など事例を提示しながらアセスメントや対応について解説する予定です。特に今回は、事例を検討する中で『見立てのコツ』について一緒に考えてみたいと思います。

認定カウンセラー資格取得者や現場で対応している方々に少しでも役立つ相互交流となればと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

IV 実践に活かす『ナラティブアプローチ』と『家族システム療法』(15時間)

講師 藤田 博康:山梨大学教授

平木 典子:統合的心理療法研究所・会長

価値観が多様化する今日において、さまざまな悩みや問題を抱えてカウンセリングに訪れるクライアントや家族の相談ニーズに対応するためには、統合的なカウンセリング実践が不可欠です。そのためには、クライアントの「現実」が、いかに家族関係や対人関係、あるいは時代背景などの社会的文化的文脈の影響を受けているかに配慮し、クライアントの経験や選好に十分に耳を傾け、協働してゆく必要があります。人々が、いかにして苦難に陥り、そして何が癒しをもたらすのかについてのストーリーは、数多くの可能性が存在します。

この研修では、講義、演習、相互交流などを通じて、実践に役立つ統合的カウンセリングのあり方を考えてみたいと思います。ナラティブアプローチや家族システム療法のもの見方は、そのための大きなヒントとなるでしょう。

V 実践に活かす『援助技術~中級から上級~』(15時間)

講師 水野 修次郎:立正大学教授

人間に対する援助の特質を理解し、それに対応できる技術を学ぶ。技術には、理解すること、共感すること、支持すること、エンパワーすることなどについて学ぶ。援助する人の特色、援助される人のニーズ、お互いの関係性、それを満たす方法などを学習する。

モデルは、クララ E. ヒル著『援助技術』(金子書房)を用いる、探索段階、洞察段階、行動段階それぞれの援助技術の演習をする。さらに、技術を超えた人間存在の意味、苦悩の意味、責任、自由、死などの人間の存在や実存について理解を深める。ヤーロム、フランクルなどの意味への意志について理解を深める。

到達目標

1. 人間 援助の理論や技術が説明できる。
2. 援助者のニーズ何であるかを説明できる。
3. 援助要請行動を説明できる。
4. 人間援助過程について説明できる。
5. 人間援助の技法について心理学、人間学、精神医学の視点から説明できる。
6. 危機の場合の援助について説明できる。

参考図書 水野修次郎著 『カウンセリング練習帳』、クララ E. ヒル著 『援助技術』金子書房

VI 実践に活かす『グループスーパービジョン』(15時間)

講師 福島 脩美:目白大学名誉教授
住沢 佳子:立正大学カウンセラー

グループスーパービジョンでは、スーパーバイザーの指導と助言のもとで、各ケースを参加者がともに検討することによって、カウンセリング実践にかかわる基本的心得と多様な工夫について学ぶことができます。事例を提出する方は、担当ケースの概要(クライアントの特徴、主訴と問題の背景、対応の方針と経過など)を、クライアント保護に十分留意して、A4で2枚程度にまとめて、開催の2週間前までに、研修会事務局に提出してください。

VII 実践に活かす『発達障害の理解と支援(実践編)』(15時間)

講師 青戸 泰子:関東学院大学教授

学校には様々な子どもたちがいます。学習に苦戦する子ども、人間関係に悩む子ども、いじめ、不登校、自傷行為、非行、暴力、虐待など、その要因や支援方法は様々です。

支援にあたり、「その子どもの中に何が起きているのか」「どのような支援が有効か」といった「見立てと支援方針を立て、チームで支援する」ことが大切です。しかし一方で、学校は個別の支援だけではなく、すべての子ども達への開発的・予防的関わりも重要です。

今回の講座は(実践編)として、参加者の皆様が「今お困りのこと」や「これまでの支援はどうであったのか」などケースの検証を含め、パーソナル・アプローチの手法から、すべての子どもを対象にしたユニバーサル・アプローチの実際を、検討したいと思います。

8. 参加費

- ① 研修費 日本カウンセリング学会会員：20,000円、ガイダンスカウンセラー：20,000円
大学・大学院生(但し社会人学生は含まない)：16,000円
非会員：25,000円

② 昼食(お弁当代) 1,000円/1食

③ 懇親会費 3,500円

9. 申し込み方法

参加を希望される方は、申し込み締切日までに下記の手続きを行ってください。

<申し込み手続き>

① 指定口座への参加費等の振り込み

② 参加申込書を事務局までFAXまたは郵送

※受講登録は、第1希望が定員の場合、第2希望、第3希望へと登録されます。

※入金確認後、受講票兼領収書をお送りいたします。研修会当日、受付にてご提示ください。

<申し込み締め切り> 10月28日(金) 定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

<振込先> 松本信用金庫 穂高支店 普通預金 0356380

日本カウンセリング学会 松本研修会

10. 参加取り消し(キャンセル)について

参加取り消しの場合は、必ず連絡をください。ご本人のご都合によるキャンセルの場合、返金できませんのでご承知おきください。但し、代理の方の参加を認めます。

11. 研修証明書について

①研修終了後、レポートを提出していただきます。合格された方には、後日「研修証明書」を連絡先の住所に送付いたします。

②研修証明書は「日本カウンセリング学会認定カウンセラー・准認定カウンセラー」の資格取得および更新時のポイントとして認められます。

☆申し込み・問い合わせ先

第124回 日本カウンセリング学会 松本研修会事務局

〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 9980-4

電話：0263-50-5872

FAX：0263-50-5862

日本カウンセリング学会「認定カウンセラー養成カリキュラム」による

第124回 日本カウンセリング学会 松本研修会

参加申込書

ふりがな		○を付けて下さい		年齢
氏名		・学会員 ・ガイダンスカウンセラー ・学生 ・非会員	・男 ・女	歳
住所	〒	TEL: FAX:		
勤務先		職名		
住所	〒	TEL: FAX:		
希望連絡先 (○を付ける)	・自宅 ・勤務先		認定カウンセラー資格 ・有 ・無	

	希望研修コース 希望順に3番まで番号を記入ください						
コース名	I	II	III	IV	V	VI	VII
	アート・アプローチ	認知・行動カウンセリング	心理アセスメント	ナラティブアプローチ	援助技術	グループスーパービジョン	学校カウンセリング
希望順位	鈴木康明	田上不二夫	飯田俊穂	藤田博康 平木典子	水野修次郎	福島脩美 住沢佳子	青戸泰子

希望の箇所に○を付けて下さい	
懇親会	・希望する ・希望しない
昼食	・希望する 11/5() 11/6() ・希望しない

申し込み・問い合わせ先
第124回 日本カウンセリング学会 松本研修会事務局 〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 9980-4
電話：0263-50-5872 FAX：0263-50-5862
<振込先> 松本信用金庫 穂高支店 普通預金 0356380 日本カウンセリング学会 松本研修会

下の欄には記入しないで下さい。

受付	コース	金額	入金確認	受講票	備考